

“すばらしきみえ”

FOR NICE COMMUNICATION

2021.10
224号

■特集／三重の展望台

●いま、グループネット／のーじへいこらい ●みえを歩こう／三重郡朝日町 柿～小向周辺

朝熊山頂展望台

伊勢志摩スカイライン



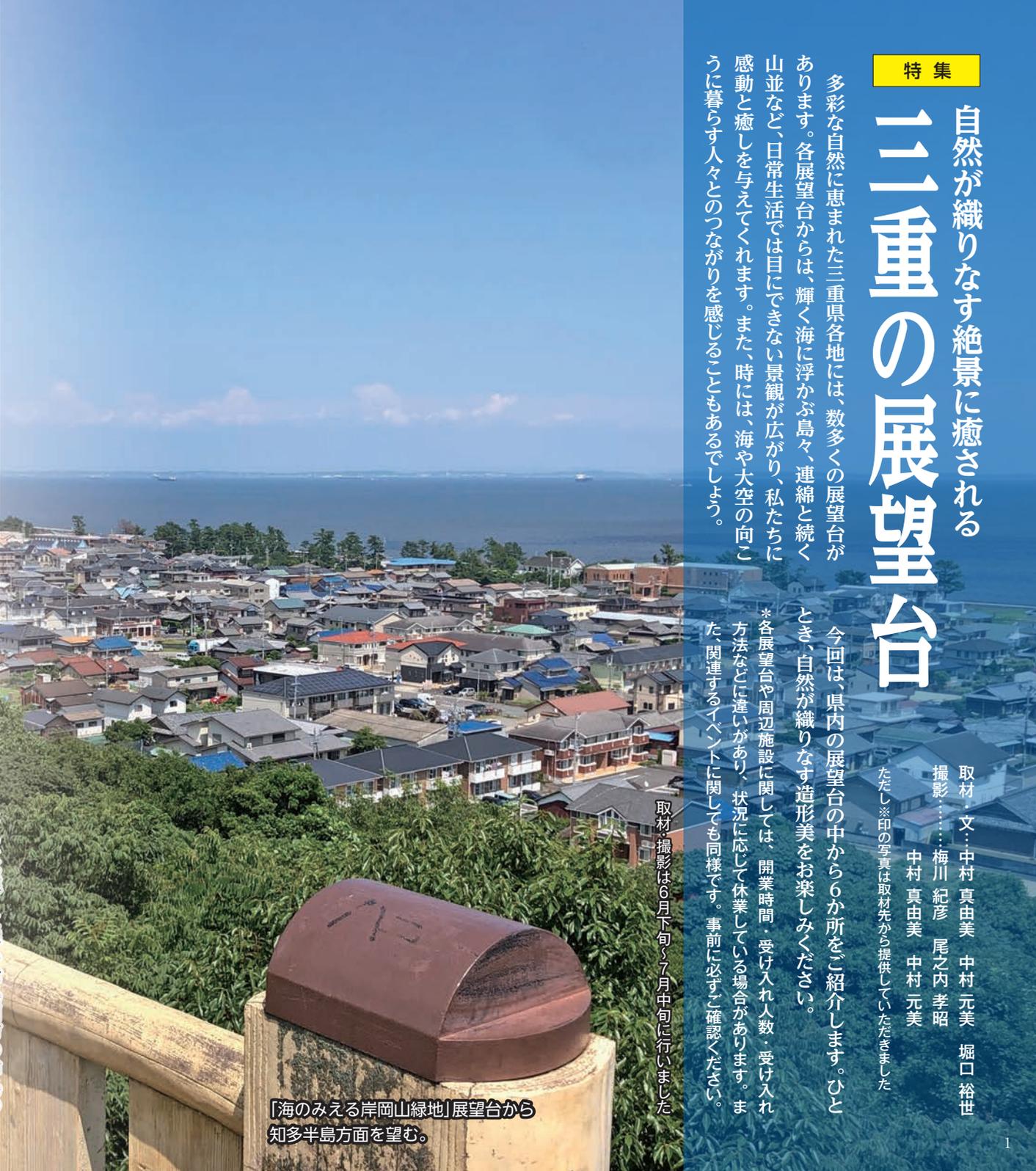
自然が織りなす絶景に癒される 三重の展望台

多彩な自然に恵まれた三重県各地には、数多くの展望台があります。各展望台からは、輝く海に浮かぶ島々、連綿と続く山並など、日常生活では目にできない景観が広がり、私たちに感動と癒しを与えてくれます。また、時には、海や大空の向こうに暮らす人々とのつながりを感じることもあるでしょう。

今回は、県内の展望台の中から6か所をご紹介します。ひととき、自然が織りなす造形美をお楽しみください。

*各展望台や周辺施設に関しては、開業時間・受け入れ人数・受け入れ方法などに違いがあり、状況に応じて休業している場合があります。また、関連するイベントに関しても同様です。事前に必ずご確認ください。

取材・文：中村真由美 中村元美 堀口裕世
撮影：……梅川紀彦 尾之内孝昭
中村真由美 中村元美
ただし※印の写真は取材先から提供していただきました



「海のみえる岸岡山緑地」展望台から知多半島方面を望む。

取材撮影は6月下旬〜7月中旬に行いました

セントレアや鳥羽市の離島を眺望

海のみえる岸岡山緑地

〔鈴鹿市岸岡町〕

「海のみえる岸岡山緑地」は、標高約45メートルの岸岡山の豊かな緑を利用してた都市公園。周囲一帯では、縄文・弥生時代から古墳時代にかけての古墳群も確認されていることから、園内にはその存在を示す標柱なども建てられています。

9.4ヘクタールと広い園内には、デイキャンプ（1週間前までに要予約）ができる「野外学習広場」をはじめとして、「古墳広場」「遊具広場」などが点在し、思い思いの過ごし方ができそうです。各広場は散策路（総延長約2キロメートル

ル）によって結ばれ、木漏れ日を浴びながら歩けば、よい気分転換になるでしょう。

その名の通り、海のみえる展望台は「古墳広場」内にあります。展望デッキに立つと、眼下には市内の白子港や千代崎港、隙間なく建つ家並が手に取るように見え、まるで大きなジオラマのようです。視線を上げれば、伊勢湾の向こうに「知多火力発電所」や「中部国際空港」（通称セントレア）の各施設が確認でき、知多半島（愛知県）までの近さを改めて実感します。



「古墳広場」内の展望台



「野外学習広場」内のデイキャンプ施設

さらに、遠くに浮かぶ鳥羽市の神島の三角の形を見分けることができました。なお、季節や条件によっては、セントレアを離発着する旅客機が見えることもあるといえます。「海のみえる岸岡山緑地」で、あの飛行機はどこまで飛んでいくのだろうと、想像の翼を羽ばたかせてみてはいかがでしょうか。

お問い合わせ

鈴鹿市役所 市街地整備課
TEL 059-1382-9025

自らの足で登った後の、ご褒美絶景

多度山上公園

【桑名市多度町】



山頂展望台からの眺望

頂周辺から絶景も楽しめることから、人々に親しまれています。

多度山一帯を満喫するハイキングコースは9種類ありますが、山頂からの絶景を見るには、「眺望満喫コース」「健脚コース」「瀬音の森コース」を行います。その中で初心者

「上げ馬神事」や「流鏑馬神事」などで知られる多度大社を参拝すると、背後に多度山の姿を目にします。標高403メートルの山は、古くから、神々が鎮まる山として仰がれてきましたが、近年はハイキングや登山コースが整備され、山

者や家族連れにおすすめなのは「眺望満喫コース」、最近人気上昇中なのが「健脚コース」と聞き、行きは前者、帰りは後者を選択してみました。「眺望満喫コース」を歩いて気付くことは、道路が舗装されているために歩き

山頂周辺は「多度山上公園」として整備され、頂上展望台からの眺望は格別です。木曾三川は河口付近まで見渡せ、正面には名古屋市の街地の高層ビル群が確認できました。この日は条件がよかつたため、北東方面に御嶽山を望むこともできました。自然から与えられた、ご褒美のようでした。

同園で体力を回復させた後は、「健脚コース」で帰路へ。距離は約1680メートルと短く、麓の駐車場までの所要時間は45分程度でした。しかし、木の根が複雑に絡み合っている上に砂利が多いため、常に足元に注意することが必要

でした。途中の展望はあまりよくありませんが、時折、木々の間から光が降り注ぐ様子は神秘的で、巡礼道のような趣でした。



「健脚コース」

なお、ハイキング途中でトレイルランナーを複数人見かけました。トレイルとは未舗装道路のこと。林道・登山道・砂利道などの未舗装道路を走るのがトレイルランニングです。大変過酷ですが、自然の大きさ・変化を実感できることから、愛好者が増えています。多

「多度山上公園」

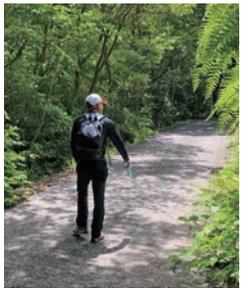
度山では、平成26(2014)年から「多度山トレイルラン」が始まり、本年4月には第8回が開催されました。「多度山トレイルラン実行委員会」事務局の伊原亜紀さんによると、回を重ねるごとに参加者が増え、今では全国各地から約1000人が集

やすいこと、

途中に休憩所を兼ねた見晴台が複数設置されているため、



「眺望満喫コース」からの眺め



「眺望満喫コース」

水分・栄養補給をしやすいことです。見晴台によって見える範囲は異なりますが、木曾三川(木曾川・長良川・揖斐川)の雄大な流れや、かつて河川が蛇行していたことを示す河跡湖などが展望できました。また、標高が上がるにしたがって景色が変化するのも醍醐味といえます。ただし、つづら折りの坂道の距離は約4520メートルあり、体力も消耗します。この日は、所要時間目安の約85分を15分オーバーして、山頂に到着しました。



「第6回多度山トレイルラン」※
(平成31(2019)年4月開催)

います。コースの具体的な距離や内容は、その都度変更されますが、来年の開催予定日は4月17日(日)です。体力・脚力に自信がある人は、挑戦してみてください。

お問い合わせ

多度町観光協会
TEL 0594-48-2702
「多度山トレイルラン実行委員会」
(桑名三川商工会)
TEL 0594-48-2627

※印の写真は取材先から提供していただきました

伊勢神宮の鬼門を守る霊山から 朝熊山頂展望台 〔伊勢市朝熊町〕



「さんぼ道」からの眺め

朝熊ヶ岳は伊勢神宮の北東・良にそびえる霊山で、その標高は555メートル。頂上近くにいくつもの伽藍が並ぶ金剛證寺は、古く奈良時代にさかのぼる由緒を持ち、神宮の鬼門を守る古刹として知られています。この門前をとおって伊勢市と鳥羽市を結ぶ「伊勢志摩スカイライン」の中ほど、金剛證寺の東側の頂に「朝熊山頂展望台」があります。

ここにはいくつもの展望スポットが設けられており、海と山と平野と空が織りなす風景をさまざまに楽しむことができます。

ゲートから続く道を

入ると、右手（東側）にある石積みの上が「山頂広場」。志摩半島に続く山並と、伊勢湾の風景がぐるりと見渡せる爽やかな空間です。この石積みは、昭和36（1961）年まで伊勢市内を走っていた路面電車・「神都線」の敷石を再利用したもので、鉄道ファンや往時を懐かしんで訪れる人も多いとのこと。

この石積みの上にはぼつんと立つ「天空のポスト」は、伊勢志摩地方で一番高い場所に立つ現役のポストです。懐かしい丸い形と鮮やかな赤が石や木々の風景の中に映え、撮影スポットとしても人気。恋人の聖地にも選ばれているので、ここから投函した郵便物は、ロマンチックな思い出とともに配達されることでしょう。山頂売店ではオリジナ

鳥羽市方面を見下ろす

ル絵はがきや切手を販売しています。

その先の大きな岩のそばにあるのは「日の出遥拝地」。この山は古くから日の出の名所として親しまれ、天候がよければ富士山も見えることから、お正月には初日の出を楽しむ人で賑わいます。この近くには御木本幸吉翁ゆかりの「御木本駕籠立場碑」もあります。

さらに海に近い場所にある「展望足湯」も人気のスポット。足を湯に浸しながら眼下に広がる伊勢湾の眺望を楽しめば一層爽快です（料金 大人100円／小人50円）。

中央にある建物は「山頂売店」と「お食事処 朝熊茶屋」。売店は伊勢志摩でしか販売されていない地酒など地元の商品を中心に品揃えも豊富で、ここからも伊勢湾の眺望を楽しむことができます。

「朝熊茶屋」では「志摩うどん」「焼き伊勢うどん」などこの地ならではの名物が評判です。

建物の西側にある「朝熊山景観マップ」付近からは、神島や知多半島など遠景が見渡せ、伊勢平野が見下ろせます。伊勢の市街地を眼下に、海と山と空と平野が描き出す風景は、日中だけでなく夕

景も夜景もきれいです。

ここから海にむかって造られた「山上広苑」の先端「勘吉台」まで「さんぼ道」を歩くのもおすすめ。一周15分ほどのミニウォークで「勘吉台」からの景色は伊勢平野と伊勢湾の絶景を豊かな緑の中から楽しめます。

「伊勢志摩スカイライン」は通行料金が必要です。また、足湯などは営業時間が決まっていますのでご注意ください。

お問い合わせ

三重県観光開発株式会社
TEL 059-226-6752

朝熊山頂展望台



「山頂広場」



「天空のポスト」



「日の出遥拝地」のそばにある岩



「展望足湯」

伊勢湾と太平洋・紺碧の海景を存分に 鳥羽展望台

【鳥羽市国崎町】



「兄弟酒」の石碑

鳥羽市と志摩市を結ぶ道として親しまれているパールロードは、全長23・8キロメートルのドライブウエー。リアス海岸特有の山と海が迫り合う複雑な風景を堪能できます。この道沿いにある「鳥羽展望台」は、標高約160メートルの箱田山山頂にあり、周辺は「箱田山園地」として整備され、散策路やいくつかの展望スポットが造られています。

ここから見える風景は、海・北・西側には伊勢湾、東・南側には太平洋が大きく広がります。伊勢湾の向こうには渥美半島や知多半島、伊良湖岬が見え、神島が

眼下に浮かんでいます。志摩半島も足元から太平洋に突き出すように一望でき、晴れて空気の澄んだ日は、遠く富士山や日本アルプスまで見渡すことができますという絶景です。



山口 誓子の石碑

富士山に並ぶ位置に海から初日が上がることから、初日の出の名所として知られ、元日の夜明けにはご来光を待つ人々で賑わいます。敷地内に立つ山口誓子の石碑「差し出でて崎々迎ふ初日の出」の句のとおり、岬の連なる海岸線を照らす初日の光と影の風景は格別とのこと。

園地の中央は「食国蔵王」という名の観光施設となっていて、白い円形の建物は「鳥羽展望台」のシンボルとされるレストハウス。この窓辺の展望席で、海の風景をゆっくり優雅に眺めながらの食

事もおすすめですよ。(使用料金一人一時間200円)。このエントランスホールには「絶景ストリートピアノ」が置かれ、自由に弾くことができます。海が見える窓辺のグランドピアノはひとときわロマンチック。ぜひ演奏を試してみてください。

この建物の前には、海に向かって本形をした巨大なモニュメントが置かれています。地元・鳥羽市出身の歌手、鳥羽一郎・山川豊兄弟にちなんで建てられた石碑で、地元の人々の思いの強さが感じられる大きさです。



レストハウス



「絶景ストリートピアノ」



広場の東屋と見晴台

レストハウスの横には「海鮮カフェはねやすめ」があり、海鮮丼やハンバーガーセットなど地元ならではのカフェメニューが楽しめます。ペットの同伴もできるとのこと、一部のメニューはテイクアウトも可能です。

「箱田山園地」内には散策のできる小径があり、駐車場を挟んで西側と南側の2か所に広場と木造の見晴台が造られています。ここはいつでも森の中から海の風景を楽しめる自然に包まれた場所。広場でお弁当など広げ、緑の中で海風を受けながらゆっくりすごしたくな

ります。見晴台上がれば雄大な海原が広がり、見渡す限りの水平線が地球の丸さを伝えます。目をこらせば遥かに浮かぶ船影も——。国崎から安乗崎や大王崎へと、海に向かって延びていく半島やその上をカーブを重ねながら続く道がジオラマのように見下ろせます。青く青くどこまでも続く海と空の風景を見に訪ねたい展望台です。

お問い合わせ

「伊勢志摩国立公園パールロード
鳥羽展望台 (有)ノア」

TEL 0599-1331-6201



8 南側の見晴台から志摩半島を見下ろす

国立公園の情報発信拠点で英虞湾を一望 横山展望台

〔志摩市阿児町〕



英虞湾を一望する「展望テラス」のウッドデッキ

日本有数のリアス海岸美を誇る英虞湾は、湾内に真珠の養殖筏を浮かべる真珠のふるさと。幾重にも重なるように突き出た半島が複雑な海岸線を描き、約60の小島が点在する様は、まるでアートのようです。平成28(2016)年の「伊勢志摩サミット」開催により、世界中に広く知られることとなりましたが、この美しい海と緑からなる風景を標高140メートルの高さから一望できるのが「横山展望台」です。駐車場やトイレも完備され、手軽に自然との一体感が楽しめる国立公園内にあります。

志摩半島に広がる伊勢志摩国立公園は、伊勢神宮とその背後の森林環境を

有する内陸と、リアス海岸が展開する海沿いのエリアに、およそ6万ヘクタールの広大な面積を占め、昭和21(1946)年に指定を受けました。その中で「伊勢志摩八景」として推薦された一つが「横山の眺望」です。英虞湾を含む海沿いは、人々が手を入れること

によって自然景観が維持管理される「里海」。漁業、農業、林業など人の営みと密接に関わりながら、景観や生態系をつくってきました。その景観を眺める「横山展望台」が整備され、平成11(1999)年には環境庁により「横山ビジターセンター」が建設されました。伊勢志摩国立公園の自然や文化について学んだり、季節の見どころや観光情報なども手に入るスポット。また「自然観察会」などを開催し、伊勢志摩のより深い情報を発信しています。この秋には展示や室

内が新しくなります。「シアタールームは前面、左右の側面、床面の4方向から映像が見られる構造となります。国立公園の素晴らしさを一層体感できるようになるでしょう」と同センターの事務局長・伊藤芳正さんは期待しています。

「横山展望台」は、伊勢志摩サミットの翌年にリニューアルされました。3つのテラスが木目の美しいデッキに生まれ変わり、それぞれから異なる景色が楽しめます。「展望テラス」「木漏れ日テラス」「そよ風テラス」と名付けられ、三重県産のヒノキを使用し、緑豊かな英虞湾とも調和しています。駐車場から一番



「横山天空カフェテラス」の2階



森林浴を楽しめる遊歩道



八大龍王などの祠や石碑が並ぶ



道標や説明板が設置されている



展示が充実の「横山ビジターセンター」

近い「展望テラス」までのアプローチは、なだらかな坂がつづら折りになっていて、ベビーカーや車椅子にも配慮したバリアフリー設計です。一面に空と海、見事なワイドビューが広がる開放感に溢れ訪れた人々はその景色を前にカメラやスマートフォンを向けています。そして「展望テラス」の背後に伊勢志摩地域の食材も楽しめるカフェ「横山天空カフェテラス」もオープン。営業する「ミラドル志摩」には季節のドリンクやスイーツが並び、志摩あおさ豚を使用した「横山天空サンド」や「志摩産あおさドーナツ」など、テイクアウトでご当地メ

ニューが味わえます。カフェテラスの2階に上がれば目線の高さが変わり、景色はまた違った印象を与えてくれます。カフェテラスからは遊歩道を進みます。木々に囲まれた森林浴で、気分もリフレッシュ。テラスや展望台は高さや見える方角も違うので、一つひとつ回るとまたよし、各所には案内板が出ているので、迷うことなく歩けます。快適な散策と爽快な景色に、のんびりと国立公園の自然を満喫できるスポットです。

お問い合わせ

「横山ビジターセンター」
TEL 0599-44-0567



「あご湾展望台」からの眺め

雄大な熊野灘と里山の緑に囲まれた
錦湾を展望

塩浜山村広場

〔天紀町錦〕



爽快な熊野灘の景色が広がる「塩浜山村広場」

「日本の道100選」に選ばれている国道260号は、峠を越える山道や海岸沿いに出る場所もあり、自然豊かな景色が広がっています。南伊勢町から紀北町へ抜ける途中に大紀町錦の集落があります。国道から逸れて海方面へ向かうと、里の山々が内海の錦湾を囲み、その海辺に所狭しと人々が暮らしています。錦の港は県内でも屈指の漁港。外湾の熊野灘では大型定置網や養殖業が盛んで、四季を通じて様々な魚介類が水揚げされています。

そんな様子を一望できるのが「塩浜山村広場」に整備された展望台や遊歩道です。熊野灘や錦湾を見渡す高台に1号、2号、3号の絶景ポイントがあり、1号広場までは車道が通じていて、錦湾の防波堤沿

いから車を走らせること約2分で到着します。

1号広場の東屋からは青く雄大な熊野灘とその向こうに熊野の山影が連なり、まさに息を飲む景色です。眼下には点在する小島や洋上を行き交う漁船、また地元で「ワリ」と呼ぶ養殖筏を望みます。1号広場下にあるのが塩浜で、森の中を海際まで降りる道もあります。

「塩浜山村広場」の1号から3号、そして集落をつないで一周する約8キロのコースが「近畿自然歩道」となっています。木々の間から見え隠れする海を眺めたり、四季折々の自然の草木を目にした、適度なアップダウンのある道を憩いのハイキングが楽しめます。また広場や遊歩道を含む海岸線や小島などの一帯は、昭和53(1978)年に「三重県錦自然環境保全地域」に認定されました。熊

野灘特有のリアス海岸や太平洋の荒波を受けて造られた海蝕地形があり、多種多様な温暖性植物が群落し、小島には多くの渡り鳥も飛来しています。

遊歩道入り口から少し歩くと、錦湾と集落を見下ろす場所に出ます。建ち並ぶ民家から一際突出した建物は大紀町錦タワーで、津波対策です。熊野灘に面した錦は津波の被害を受けやすく、その歴史が垣間見えます。

所々に「黒島展望台」や2号広場「潮騒の丘」など、一息つける東屋やポイントがあり、それぞれに見える景色は違っています。ウバメガシの群生する尾根を



1号広場の東屋前に駐車が可能



2号、3号広場に続く遊歩道入り口



ベンチも設置された「潮騒の丘」



大漁祈願で知られる錦神社



地元の小学生が描いた防波堤

歩くと、3号広場の「ブリ沖見台」に到着。広々とした紺碧の熊野灘を見渡せます。ここは昔、ブリの大群が来ないかと沖を見張っていた場所、すぐ近くは戦時中に敵機を監視する場所にもなっていました。さえぎるものもなく水平線が広がり、夕刻のサンセットも見応え十分。元旦には大勢の地元の人々がここで新年の初日の出を迎えるようです。

3号広場から集落へ歩道が通じています。氏神の錦神社が石段を上った場所にあります。毎年1月には大漁祈願と平安無事を願う八幡祭が行われます。神社から家々を縫うように歩くと、高台

に金蔵寺が見えてきます。境内には安政元(1854)年の安政東海地震の「津波流死塔」と昭和19(1944)年の東南海地震の「大震肅災記念碑」があり、津波や被害の様相が津波教訓として記されています。

錦湾から集落を守る防波堤には、地元の小学生が描いたふるさとの風景。波静かな内海とほほえましい絵を眺め、外湾を見下ろす「塩浜山村広場」1号へと戻ります。

お問い合わせ

大紀町役場 商工観光課

TEL 0598-861-2243

のーじへいこらい

「のーじへいこらい」は尾鷲市野地町の商店街にあった廃屋を利用し、自分たちの暮らす地域を活性化させようと、平成22年に結成された団体です。主な活動は週末にオープンする地物が並ぶ店舗の営業。立ち上げ時から話題となり、行列ができて慌てふためく様子を見かねて、スタッフに加わった人もいます。現在は9人がグループに所属しています。



商店街の一角にある

お問い合わせ

「のーじへいこらい」
尾鷲市野地町2-8
TEL 0597-22-0160
営業日時：土・日曜日
9時～15時

「のーじへいこらい」は尾鷲弁で「野地町に行こう」という意味。野地町に住むみなさんが町を盛り上げたいとボランティアで活動し、店舗を運営しています。畑から採れたての野菜、また黒糖寒天や押し寿司など、ふるさとの味を今に伝えています。代表の内山 幸子さんはじめ、メンバーのみなさんにお話を伺いました。

——尾鷲駅前の商店街をしばらく歩くと、「のーじへいこらい」の店前が「一際賑やかで、すかすか」だとわかりました。

内山：空き店舗を活動拠点の直売所として改装しました。以前は別の場所です。仕入れたものを販売していたので

すが、こちらに移って自分たちでお総菜も作りたいと厨房を整え、保健所の営業許可を取りました。

——午前中はレジ前の列が途絶えないほどの盛況ぶりですね。総菜は種類が多く、少量なのでいろいろ選べますし、野菜も鮮度のよさがわかるものばかり。

野田 まほ子：料理の得意なスタッフが朝7時に出てきて、調理を担当します。魚入りの味ご飯やちらし寿司は定番。天ぷらや魚の煮付けなどは一人暮らしの方に喜ばれています。尾鷲に単身赴任するお客さんも多く、酢の物やサラダなど栄養バランスを考えて買っていくかれますね。価格帯も購入しやすいよう設定していて、高齢者の方には程よい分

量で、食べ盛りの方も種類をたくさん選んでもらえるよう、容器に詰めるだけでも時間がかるんです。

湯浅：販売する野菜を届けてくれる農家さんが10人ほどいます。イタドリなど山菜も持ってきてくれるのでありがたいです。その旬の野菜を使って総菜を作っているの、お客さんからどんな献立がいいのかと聞かれることも多く、自分たちの実体験を紹介しています。漬物は同じ素材でも作る人によって味が違い、それぞれにファンがついていますね。

——交流促進の仕組みである「まちの駅」にも登録していて、休憩スポットとしても開放しているのです。

野田 洋子：店の奥にある小上がりに畳を敷き、休んでもらうスペースを作りました。市内各施設が参加する「尾鷲おひなさままつり」のときには、ここにひな人形を飾って、甘酒やお汁粉の振る舞いもしています。地元の人だけでなく、熊野古道など観光で尾鷲にみえた人同志での交流が生まれることもあります。

仲本：「まちの駅ネットワーク尾鷲」が取り組む「おわせ棒」で、オリジナルの棒メニューを考案しました。食感がカリフライのように独特な「エリンギ棒」、尾鷲の三木里地区で手作りする「こんにゃ



総菜を次々と調理する厨房



名物の「おわせ棒」と手作り総菜



店内の様子。レジに立つのは会長の内山さん



前列左から野田 まほ子さん、野田 洋子さん、後列左から湯浅 忍さん、内山 幸子さん、仲本 知佐子さん

——さまざまな町の活性化に積極的に関わり、10年以上活動が続いているのです。

内山：仲良しメンバーで楽しく集まっていますが、野地町を、そして尾鷲をよくしたいこうと、ときに厳しくなることも。それでもすぐに笑い合える仲間、この活動が日々の刺激にもなっています。若い人も手伝いに来てくれるようになりました。世代を超えて、みんなで知恵を絞っています。

——販売を創出することを目標に、気心知れた仲間が得意分野で活動を支えています。言いたいことが言い合えるのも、活動が長く続けられる秘訣かもしれません。

インタビュー：中村 元美



萬古焼のルーツを訪ねる
三重郡朝日町

柿く小向周辺

土鍋や急須などに代表される萬古焼は、三重県が誇るブランドの一つ。主な製造地は四日市市を中心とする地域で、「四日市萬古焼」が国の伝統工芸品、「桑名萬古焼」が県の伝統工芸品に指定されていますが、そのルーツとなる窯は、現在の朝日町内にありました。桑名の豪商・沼波弄山（1718〜1777）が小向の名谷に築き、自らの作品に「萬古不易」の印を捺したことに始まります。弄山亡き後、萬古焼は一度廃絶してしまいます。それを惜しんだのが、桑名の森有節（1808〜1882）でした。有節は、再び名谷に窯を築き、見事に復興させたことから、「萬古焼中興の祖」と称されています。

今回は、萬古焼発祥と同時に復興の地でもある小向周辺を歩きます。すると、江戸時代の国学者・橘守部の誕生地や、由緒ある寺社など、多彩な歴史・文化遺産にも出会うことができました。

*森有節の名は世襲制で4代まで続きますが、本文中では初代のみを紹介しています。
取材・文：中村真由美

東海道沿いに建つ名刹

今回の散策の起点は、JR「朝日」駅です。駅から南東へと延びる道を少し歩いたところで、目の前を道路が横切ります。この道は、かつての東海道路で、江戸時代には焼き蛤売りの茶屋などが軒を連ねていたといえます。現在は静かな住宅地の中を続く東海道を北へ進むと、西光寺と浄泉坊で当時の賑わいを知るものに出会うことができました。まず、西光寺の本堂で見ることができたのは半鐘で、安永6（1777）年と刻まれています。一方、浄泉坊は徳川家にゆか



西光寺と半鐘（小形の釣鐘）



浄泉坊



以前の本堂に据えられていた鬼瓦



「橘守部誕生地遺跡」（三重県指定史跡）

国学者・橘守部誕生の地

浄泉坊を後にして東海道をさらに歩

りのある桑名藩主の奥方の菩提寺だったといわれます。そのため、山門扉や屋根瓦などに徳川家の家紋である三ツ葉葵を入れることを許されていました。参勤交代の大名が門前を通る際には駕籠から降りて一礼したと伝わります。現在の本堂などは明治時代以降のものですが、山門前には以前の本堂に据えられていた大きな鬼瓦があり、威風堂々とした当時の姿を想像することができます。

くと、整備された二画が見えてきました。案内板には「橘守部誕生地遺跡」と記されています。橘守部（1781〜1849）は、江戸時代後期の国学者。国学とは『古事記』『日本書紀』『万葉集』などの古典研究から日本固有の文化や精神を理解しようとする学問のことで、県内では、本居宣長（1730〜1801）や、谷川士清（1709〜1776）がよく知られています。

小向に生まれた守部は、17歳で江戸に移り住みます。21歳の時に学問を志しますが、その真価を発揮するのは60歳を過ぎてから。『稜威道別』『稜威言別』など



■ 行程図		所要時間／約1時間30分		※所要時間は、おおよその目安です。	
START	JR「朝日」駅	約100m	西光寺	約300m	浄泉坊
		約100m	橘守部誕生地遺跡	約300m	橘守部翁生誕之地碑
		約30m		約30m	
	約200m	柿城跡	約300m	朝日町歴史博物館	約600m
				約200m	有節萬古窯跡「森有節之墓」
				約600m	小向神社
					朝日町資料館



「森有節之墓」

板の傍らには、「森有節之墓」が移設され、萬古焼復興の地であることを物語ってくれています。

ところで、弄山が築いたという窯跡はどうなったのでしょうか。実は、翌年に少し離れた高台で、全長約13メートルの土壁造りの連房式登り窯や鍵穴状の小型丸窯などが発見されました。しかも、弄山の時代の「古萬古」と同時期に該当することも確認されました。

現在は、住宅地の一角に説明板が立つだけの「古萬古窯跡」ですが、その一部で



「朝日町歴史博物館」外観



菊の盛絵も見事な「菊花文急須」



腥臙脂(鮮やかな桜色)が美しい「腥臙脂釉龍文輪花鉢」

ある鍵穴状の小型丸窯(複製)は、「朝日町歴史博物館」で間近に見ることが出来ます。また、朝日町の歴史や文化財を一室に集めて展示する館内では、有節の優れた作品を見ることが出来ます。展示内容は適宜変更されますが、この日は「腥臙脂釉龍文輪花鉢」と「菊花文急須」を見学できました。

「朝日町歴史博物館」で、美しい「有節萬古」に魅了され、朝日町と萬古焼の歴史をおさらいした後は、終点の「JR朝日駅」へと戻りますが、途中で、柿城跡に

寄り道してもよいでしょう。同城の城主は、戦国時代の豪族・沢木宗喜(むねよし)で、弘治3(1557)年に近江の佐々木氏に滅ぼされています。現在、城跡には展望台があり、四日市港のコンビナート群などを眺望できました。

☎朝日町役場 産業建設課
TEL 059-377-5658

「朝日町歴史博物館」
(月曜日・祝祭日・毎月末日休館)
TEL 059-377-6111



柿城跡に設置された展望台



「橘守部翁生誕之地碑」

の代表作を著し、香川景樹・平田篤胤・伴信友とともに天保の国学四大家の一人に数えられるまでになりました。なお、同誕生地遺跡は朝日町役場の北西にあり、役場入口前には、功績を讃えた「橘守部翁生誕之地碑」がたたずんでいます。

役場の近くには、国の登録有形文化財の「朝日町資料館(水・土曜日開館)もあります。大正5(1916)年に旧朝日村役場として建てられた後、昭和53(1978)年からは、町内の民俗資料を中心に展示する資料館としての役割を果



「朝日町資料館」

たしています。

萬古焼復興の地から「朝日町歴史博物館」へ

同資料館の次は、方向を西へ変えて萬古焼ルーツの地をめざしますが、その前に立ち寄りたいのが、小向神社です。JR関西本線の踏切を渡り、北へ歩くと、深い緑に覆われた同神社が見えてきました。毎年8月には、裸の男たちが火の付いた松明でたたき合うという勇壮な「八王子祭り」が行われています。



小向神社

厳かな雰囲気の中、小向神社に参拝した後、少し南へと戻ると「名谷公園」という案内板に気が付きました。このあたり一帯の丘陵地が、名谷(山)と呼ばれたところ。平成16(2004)年、公園周囲で行われた範囲確認調査の結果、全長約17メートルの連房式登り窯と推定される遺構が確認されました。土瓶や水差しなどの遺物も出土し、「萬古」「有節」印が捺されたものも含まれていたことから、「有節萬古窯跡」として県の史跡に指定されました。現在、窯跡を紹介する案内



「名谷公園」

三重 の シンボル

東員町

三重県内の市町などが、それぞれの特徴を象徴する存在として選定している木・花を紹介します。



町の木
ウメ



町の花
シャクヤク

■ お問い合わせ ■

東員町役場 政策課 広報秘書係 TEL 0594-86-2862

*市・町名の50音順に紹介しています。

*シンボルを選定していない、もしくは鳥や魚などを選定している市町も一部あります。

表紙写真 「朝熊山頂展望台」(伊勢市朝熊町)

百五銀行のホームページで、「すばらしき"みえ"」のバックナンバーをご覧ください。
<https://www.hyakugo.co.jp/mie/>